

研修先 東京都瑞穂町役場

(文教厚生常任委員会)

航空基地だが騒音は少ない

都心から北西に40km、古くから青梅街道の宿場町として栄えているが、現在は町の半分が米軍横田基地として国の管理下にある町。石原都知事は横田基地の返還と軍民共用を構想としているが、地元では航空自衛隊との共用使用では概ね容認だが、軍民共用化には反対している。戦後基地の町として米軍への「思いやり予算」国の政策が充実されているため、周辺の町では土地基盤整備が進められ、まちづくり計画は全国でもトップクラスに達している。すでに道路整備・下水道整備は96%計画が終わって、今度は快適で便利な都市基盤づくりから、生活環境づくりを重点に防衛との補助事業が計画されている。

豊かな財政で住民の幸せを

今は基地周辺の騒音緩和に役立つと思われる工場群は、宇宙開発に関係する石川島播磨重工など関連産業が立ち並び、ともに成功して住民定住にもその役割を果たしている。
人口3万3千人余・議員定数18名で、その半数が議



▶瑞穂町福祉施設を視察

員を専業とし公務に集中しているとのこと。年間予算は126億円と榛東の倍位だが、国保・介護等の福祉関係の予算はかなり多い。高齢化率は18%とそれほどでもないが、住民の定住率や医療施設の充実にも関係があるようだ。ちなみに町の面積は榛東の4分の1で、町には総合病院3・開業医も13医院、福祉施設

4箇所等、公営の施設はないが医療職員の確保を行政も迫られている。町の保健センターを視察させて頂いたが、合理的で運営にも行政資金のゆとりがみられる。注目したのは国保の加入者に限り土曜日に歯科・妊婦等を医師の健診で

行い好評のようだ。プレイルームの利用でも一般貸し出しはないが、こども・妊産婦・心理相談等を週2〜4回、特に医師との相談は予約で受け付ける。その他に母子や身体的弱者の健康維持にはインストラクターによるストレッチ等にも利用している。榛東とその目的は同じでも利用方法に違いが有ったり、設備の安全利用とか子どもたちの配慮は参考にした。

ここでも井上工業の破産は影響

会議の最後に新庁舎問題を新聞で知ったと発言があつて、実は瑞穂町も小学校の耐震補修工事を1億2千万円で、井上工業が27%の出来高で同じ立場にある。だが、その後の措置については、第3者機関に付託することが賢明な方法、たろうとの話だった。

井上工業の破産でこの町が受ける状況と、榛東村民が受けるショックには大きな差が感じられるが、どちらの住民も今後行政の対応を見逃すことはあるまい。

小淵大臣を

表敬訪問

次に群馬県観光物産課が東京で展開する「群馬総合情報センター」を視察。場所は、銀座「歌舞伎座」前のビルで「ぐんまちゃん家」では県の魅力を様々な角度から紹介している。道の駅・スキー場・農産物等々。村も「しんとうワイン」が展示されていたが今後とも観光PRや企業誘致を県職員

にお願ひする研修だった。

このあと予定にはなかつたが、「小淵優子大臣」を表敬訪問することにまつた。国会議事堂を目的に、警備の厳しい「内閣府」に「少子化対策特命大臣」を尋ね20分間の会



内閣府特命大臣室に小淵大臣を表敬訪問

見が叶った。冒頭に本人いわく「当初は2週間位の予定と考えていたが、こんなに長く仕事をさせてもらえるところは思わなかつた」と本音を語ったが、今後とも榛東村を含む選挙区のために、要望をお願いし忙しい公務の中を駆け抜けるような会見だった。(解散が気になるようだったが、私達も今期最後の委員会研修を終え、議員として意義のある答えが必要だと思つた)

給食センターの 業務委託を村長へ 答申

学校給食業務委託業者選定にあたり、業務委託希望者3者からの提案でプロポーザルを実施し、慎重審議の結果、技術力・内容を総合的に判断して、給食業務委託業者として最も適している業者を株式会社東洋食品に選考したもので、円滑な決定と答申を尊重されたい。



▶民営化を予定している
給食センター

高塚の森・紅葉まつり



森林と古墳地を守る
試験場長

11月3日群馬県林業試験場では今年6回目になる「紅葉まつり」で一般公開された。針葉樹類・約100種類、広葉樹類・約600種類が、8.75haの場内を彩っている。祭典では、森林探険宝探し・実演コーナー・農林産物販売等、もちろん林業試験場の仕事紹介があつて、森の音楽祭では「北小吹奏楽の演奏」が華を添え、沢山のお客さんが楽しんだ。主題は「木々の葉が色づく森の中で深まる秋を見つめよう」と言うことだったが、ちょっと早目の紅葉だった。

同じ榛東村の中に在って中々試験場の存在すら知らない人達もあつて、このような一般開放に家族で参加を主催者も歓迎している。

この試験場は私達が安全で快適な生活を送るために森林は大事な役割を果たす事などや、地球の温暖化・環境エコロジの流に公益的機能を総合的に発揮する活動を進めて、豊かな森を後世に引き継ぐためとか、山村地域の経済支援のため(きのこ)の人工栽培技術の改良や、傷害鳥救護施設(野鳥病院)等にも取り組んでいる。つぎに、群馬県指定史跡の「高塚古墳」として知られ、6世紀後半の特徴ある前方後円墳は昭和34年に調査が行われ、以来林業試験場の敷地内で保存されている。

古墳は豪族が死後を過ごす場と考えられ、隣接の長久保古墳群(現20区)にも17基が存在している。(発見された勾玉などは村の耳飾り館に展示してある)



高塚の森音楽祭(北小吹奏楽)

「切らずに」治すガン治療

群馬大学長 鈴木 守氏の講演から

最新の「重粒子線照射装置施設」が群馬大学に150億円で設置された。全国では100万人(男6×女4)が「ガン」で死亡している。身体の中で60兆もの細胞があつて、この中で若いガン細胞がモーレツに細胞分裂を起こして、無制限に増える。

外科医はこの細胞の形を見て手術をするが、悪性・良性は形でわかる。悪性のガンは良性の細胞を痛め、別の細胞に転移して行く。自分で勝手に増殖するのがガンの特徴だが、やっつける仕掛けも有る。インターフェロン(ウイルスを殺す細胞)、だから安心かと言うとそうはいかない。ガン細胞は薬に抵抗して活動するため正常な身体も痩せ衰える。ガン細胞の弱みを狙って組織を破壊するが、多少の残りでも増殖する。今はレントゲンが進んでCTや重粒子線も放射線(強い光)で、喉頭ガン(風邪の症状で声が出ない)などはガンマー線治療で治す。だがガンマー線だと身体の皮膚を痛めるが、今は鼻から細い管で放射線治療も炭素イオンを電気

で照射は30秒で終わるため通院で済む。これ以上の「重粒子線治療装置」を群馬では設置。これは日本で最初だが室内プール程の大きさで、税金で建設したが活動費は今募金で賄っている。権威のある先生の話に会場が静まり返って聞き入ったが、最後に記憶したいのは、

1. ガンの病巣にだけ照射し効果。
2. 一般の放射線が効かないガンにも効く。
3. 短期間で治せる。

最先端治療でも分かりやすい講演だった。

研修レポート

研修先 福島県棚倉町役場 (地域開発・次世代育成支援特別委員会)

いにしえからの 風を背に

北緯37度に位置する「棚倉町」はアメリカのワシントン・隣の韓国ソウルと、魅力的な都市が多いし、歴史的には1万年前から生活を営んでいた形跡が発見されている。

(たなぐら)の地名は弘法大師(807年)が東北行脚の途中に、悪鬼を調伏祈願して、光と風が語らう「充実空間」を意味すると伝えられたようだ。

地域開発の経緯が見ごと



棚倉町役場を訪問

で、城下町を保存し重点施策の第一に雇用場の確保し、定住化を推進するため企業誘致を展開。若者に魅力ある職場と生活基盤の住宅を提供してきた。バブル

経済の最中、日本を代表するトップ企業3社を軸に付随する事業所が60社ほど誘致できたことで、自然環境を破壊しないように社会基盤の整備も進め、快適で安心できる1万5千人の町になったようだ。このような成果を得られた背景には町出身の「東京棚倉会」が積極的に協力できる下地が

あったり、当時の町長は6期目の信頼ある政治家だったことで、町民の支持の深い女性町長だった。

ゆとりある経済で 子育てを支援

次世代の子育て支援については、保育園は社会福祉法人・榛東は民営。幼稚園はほぼ同じようなものだが、保育料の未納は0%・榛東は3%との差があり、滞納者等への徴収手段にも土地柄があるように思える。少子化対策による子供の医療費無料化では来年4月から15歳(中3)まで無料化・榛東も3月定例に提案し同じように無料化の予定。学童保育での違いは職員の定着に差があつて、嘱託としての身分で20%余り優遇され退職者はいない。この点では村も参考にし長く勤めて頂けるよう配慮が必要だと思う。

町ぐるみ カルチャーパーク

町の中心部は城下町だが、周辺を小高い山に囲まれた盆地の中、久慈川の清流に沿ってなだらかな地形を利用した「健康テーマパーク・リゾートスポーツプラザ」は全国でも数少ない総合施設として、県内外を問わない利用者で賑わっている。ここでもオリンピック発祥の地ギリシャで

北緯37度に位置する「スバルタ市」と友好都市提携し、ルネッサンス時代の白い建物群はギリシャ建築をモチーフに作られた広大な施設。あらゆる体育施設からクワハウス・宿泊(500名)施設まで、当時の女性町長が77億8千万円の借金で「ルネッサンス棚倉」の施設を整備したが、数年前にその返済は終

わり現在は施設運営等を第3セクターとして、50%行政出資で事業活動し年間1億4千万円程度、町財政に利益配当されている。(土日等はこのカルチャーパークが大変な賑わいとなる)

不況の時代でも 充実空間をつかめ

一時期(バブル時代)国・地方を問わず湯水のように公金が流用され、バブル崩壊後の産物かと想像していたが、さにあらず町では、企業誘致によって6千人の雇用を生み出し「ルネッサンス棚倉」の施設でもスポーツインストラクターを含む9000人の人達が働いている。もちろん失業者はなく、近隣町村からも大勢の雇用がなされている。

水戸市から郡山市まで水郡線(ローカル)の中間で古い文化と風土の中で、新しい町づくりに取り組み、この結果を成し得たのは何か? 積極的な住民参加その一つに定例議

会に傍聴者が50人の満席となり、議員定数は16名だが、平均年齢43歳の若さで議論は白熱し見応えのある議会との説明があつて、この町の政策指針の成功が頷ける。

私達の研修目的は地域の発展や次の世代を任せる青少年に、どのような「充実空間」を準備できるのかで、この町の行政視察から議員として学ぶところは多く、今後の議論に役立てなければならぬ研修となった。



熱心に先進地の研修を

群馬県町村議会議員研修 (10/29)

研修先 吉岡町文化センター

「地方自治の改革は進まない」

講師 松本 克夫 氏

例年に習って2人の講師による研鑽が行われた。福田元総理退陣後、麻生内閣によって分権改革や道州制はどうなる。町村の危機をどうする。このことについてジャーナリストの松本克夫

夫先生は、小泉内閣時代800兆円の借金をした事で、国民生活が豊かになる事を望んでいたが分権改革は成功していない、国と地方の間の政治戦略も失敗している。



地方自治の改革について講演を

いったい800兆円の責任を自民党は誰になすりつけたのか、その結果いまだ地方は苦しい。三位一体をうたった分権改革が中断して

いる中、税財源の改革を除き地方に必要な権限移譲などは解散選挙まで様子見で良いのか。道州制基本法の制定を麻生政権は選挙の結果でどうする、自民党の政治家には発言しやすい意味のない論議と言わざるを得ない。今言われている道州制の単位は人口1千万人位、こんな大きな自治体を統率できるのか、自治と言えるか。日本列島では村が消え町が壊れ、中山間地は「限界集落」となり一方地方都市は中心部の空洞化が進んでくる。平成の大合併も半数の住民は評価していない、民主主義の良いところはトップをリコールできる単位だし、命や心を豊かにするのが地域社会で、町村と違う物差しから道州制は矛盾している。「物は豊かになつたが、心は貧しくなった」政治家の悪化も、2代目議

員が田舎に選挙区が有つて、生活は東京でしている。したがって正しい民主主義

の政治にはなりにくい。議会は広場・せめて群馬の地方議会は執行のプロセスに

議論を深める場にせよとの苦言を残した。

「アメリカとの関係で日本の行方は」

講師 森田 実 氏

テレビで馴染みのある評論家の森田実先生は「40年も政治評論の旅をしている。もしかして奥の細道の松尾芭蕉より多い」とうそぶく。マスコミは思い込みが激しいが今度は130の選挙区で自民党はまずい。昭和27年吉田茂総理が一方的に解散したが、相手が不利な状況の時に行うのがよい。民主党は今解散なら何でも同意すると言ひ、一方では時によって選挙は個人破産する人もいる。このところ企業が危なため広告を控えている、マスコミも広告で動くが選挙に広告費を使わない党は負けると言つ。アメリカは金融危機で26兆円出した。企業を救わないと国民生活が成り立たない理由がある。今度のリーマン問題でアメリカに世界の金が集まったが、今回は大統領が切腹しても納まら

ない。一局集中の代表が東京で大きくなって喜ぶのは石原知事だけだったが、企業の倒産により東京が困ればアメリカが病気になる、中国やインドも発展が止まってしまう、この世界の不況を助けるのは国連しかない、大きな政府は危ないという見本。対照にロシアは国家主義を表明し始めている。このことでイギリスは警戒しているし今度の金融騒ぎでヨーロッパの政局は大きく変わりそう。小さな政府で軍隊と社会政策に重点を置きアメリカの今を見て、大きな政府で世界を動かすアメリカに資金が集中したことが原因だとし、資本主義のあり方を変える方向にならう。アメリカの自由主

義で育った国民はいつも子分を持たないと不安で、軍事産業で発展し日本をパートナーに成長したことや、戦後アメリカの言う事を聞かされてきた事を日本の政治家は外交に利用しなければならぬ。そのチャンスは今だ。「暴走するアメリカの資本主義を防ごう」と会場の皆さんにアメリカに対する考えを変えて欲しいと現状を訴え講演を結んだ。

大統領が切腹しても納まら

アメリカの自由主



町村議会の議員研修 (吉岡文化センター)